

- 幸田町と中部電力ミライズ株式会社は、これまでに進めてきた幸田町スーパーシティ構想、NTT西日本とのまちづくり包括連携協定、SDGs未来都市企画などの協業事業をベースに、持続可能な社会の実現に向け相互に連携協力することで、幸田町における地域課題の解決を図るとともにカーボンニュートラルに関する取り組みを推進します。
- カーボンニュートラル推進等に関する包括連携協定に基づき、再生可能エネルギーの導入・BEV等の次世代自動車の普及に応じた充電器・充放電器等のインフラ整備、住民の省エネ意識の向上と行動変容を促進する施策展開等を通じて、2050年のゼロカーボンシティ実現に向けた諸施策を加速していきます。

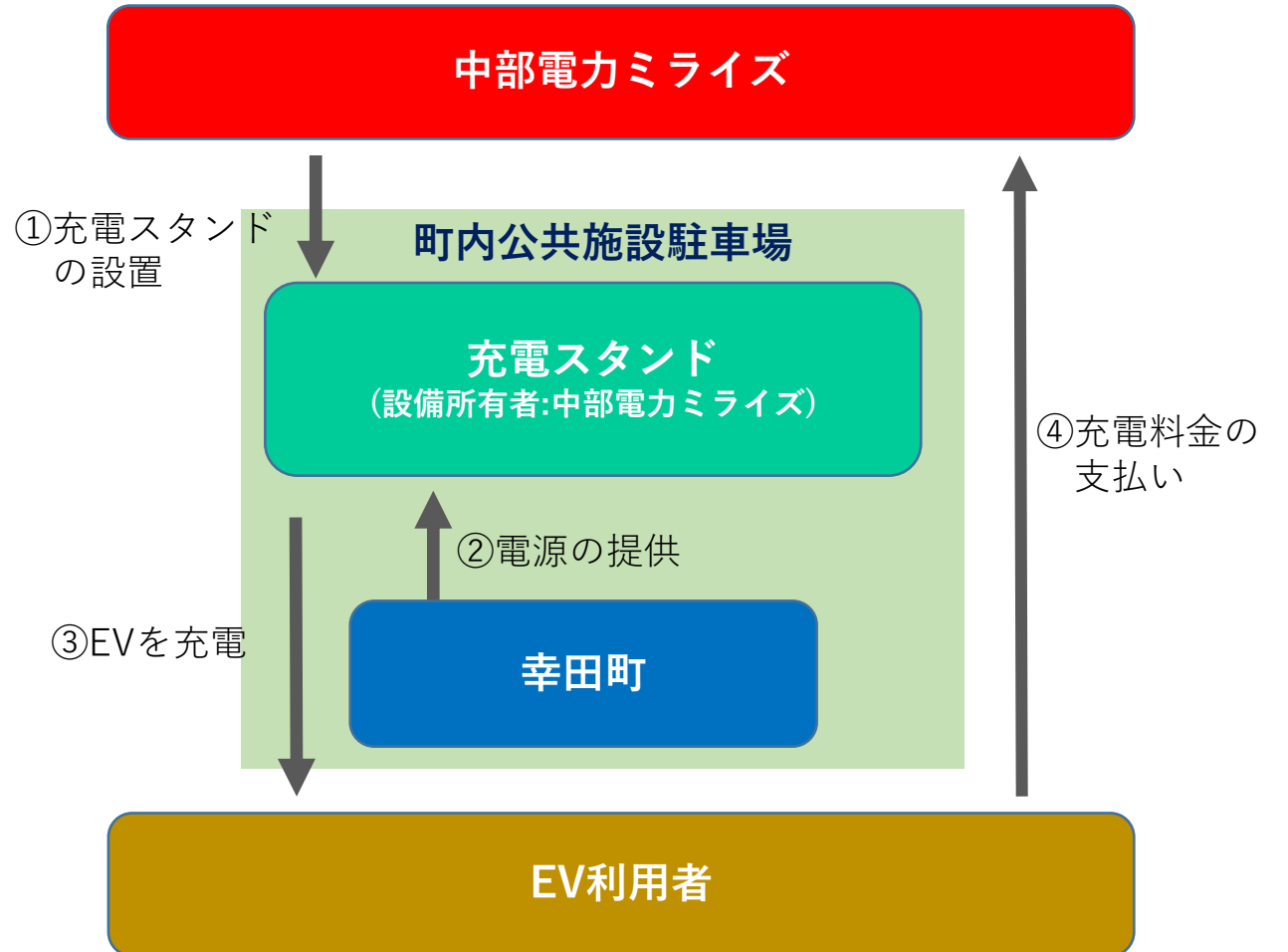
具体的な連携事業

1. カーボンニュートラル実現に向けた再生可能エネルギーの活用に関すること
2. クリーンエネルギー自動車及び充電器・充放電器等のインフラ整備に関すること
3. 脱炭素型のライフスタイルの推進に関すること
4. 環境意識の向上や行動変容に係る教育及び啓発活動に関すること
5. SDGsの達成に向けた取組に関すること
6. 地域コミュニティの安全・安心に関すること
7. その他、協定の目的達成に必要なこと

○事例：公共施設へのEV充電設備の整備

令和6年度において、中部電力ミライズが提供するEV充電サービス「treev」を活用し、幸田町内の公共施設の駐車場にEV充電スタンドを整備する予定です。

treev



○事例：小中学生向けSDGs出前教室の開催

中部電力グループでは、従業員や「でんきの科学館※」のスタッフが小中学校へ出向き、実験を通して発電のしくみをわかりやすく紹介する「電気実験教室」やエネルギーと環境保全の重要性について紹介する「環境・エネルギー教室」など、「出前教室」を実施しております。

今回の協定を踏まえ、ものづくりが盛んな幸田町の次世代を担う子どもたちに、SDGsに関する出前教室を検討・実施したいと考えております。

※中部電力が運営するPR展示館

